

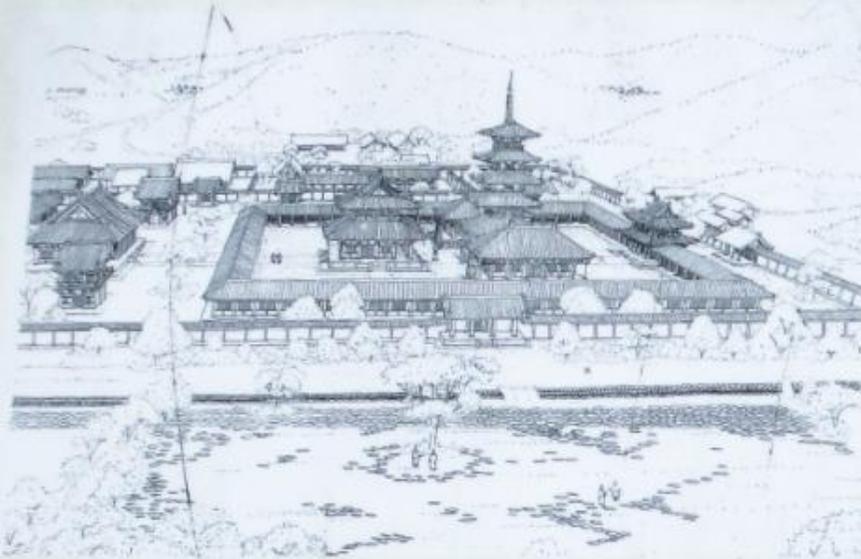
飛鳥寺跡(奈良県高市郡明日香村)

ここが飛鳥寺跡/日本最古の本格的な寺院である法興寺が飛鳥寺と称され、平城京遷都とともに移転し、元興寺と名を変えた



あすか であら
飛鳥寺

Asukadera Temple



飛鳥寺 復原図（西から）

したが、建久7年（1196）に消失し、現在に至る。法興寺・元興寺とも称され、現在は止利仏師の作と伝える重要文化財の金銅丈六仏が残る。

昭和31年から継続的な発掘調査の結果、塔を中心に三方に金堂を置き、北側に講堂、南側に中門・南門の跡があることが判明した。寺域は南北290m、東西200～250mの規模をもち、飛鳥では大官大寺とともに、最大規模の寺院であった。

『日本書紀』によれば、崇峻天皇元年（588）に蘇我馬子は法興寺を建立することを計画、同5年には仏堂（金堂）・歩廊（回廊）が完成、推古天皇元年（593）には塔を起工し、同4年には一応の建物が完成した。同13年には丈六仏像を造り、翌14年に安置したとある。日本最古の本格的な寺院で、その造営に際して多くの博士・工人が朝鮮半島から渡来してあつたことが記されている。

大化改新や天皇の病氣平癒など飛鳥時代を通じて飛鳥における中心的な役割を果た

According to the Chronicles of Japan (Nihon shoki), Soga no Umako planned to build Hokoji Temple in 588, and in 592 completed the golden hall and cloisters. In 593 he erected the stupa, and in 596 completed the overall project. In 605 he had a 4.8m (16 feet) high

正面は現在は安居院(あんごいん)と呼ばれる飛鳥寺跡/飛鳥寺は平城京遷都後、元元興寺と名を変え、その後焼失や荒廃のあと、江戸時代に安居院として再建されたという



本堂には止利仏師(とりぶっし)の手になる本尊の釈迦如来像(飛鳥大仏)が安置されている

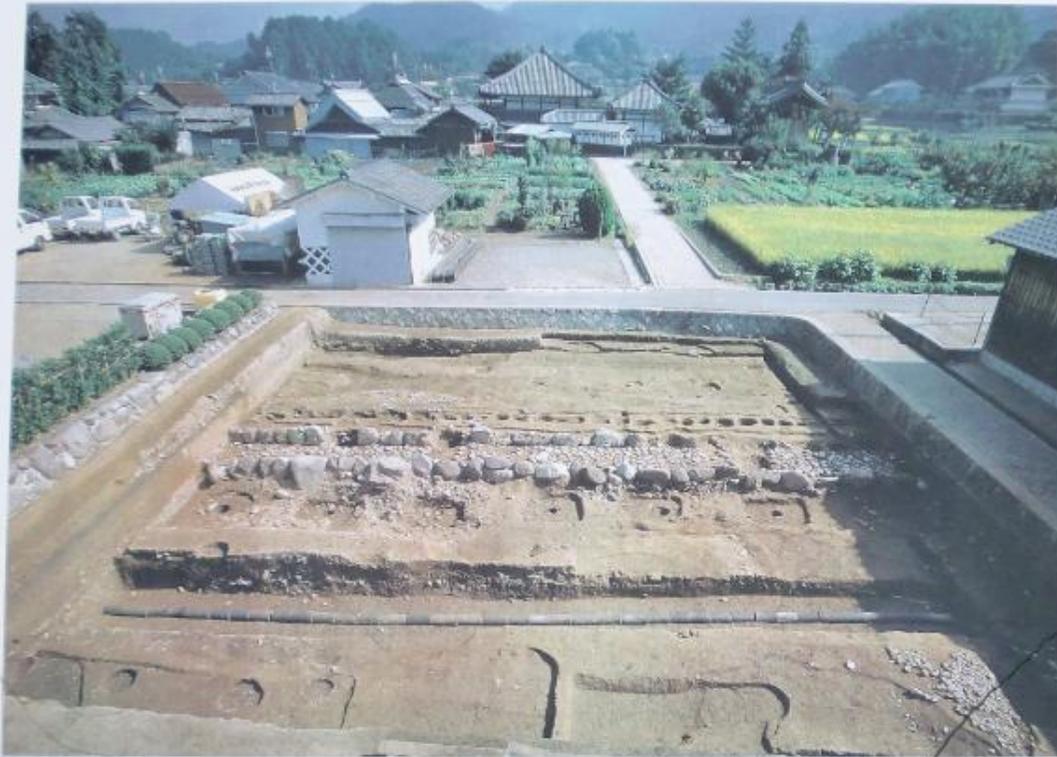


右手の屋根の建物が現在の安居院の本堂/飛鳥寺跡の中金堂があった位置に建っている



これは西門跡とその前方に現在の安居院を見たところ





飛鳥寺西門跡

飛鳥寺は西暦588年につくり始められた日本最初のお寺。塔を中心にその北と東西に三つの金堂がたっていた。北の中金堂にあった鞍作鳥作といわれる飛鳥大仏は、いまもその位置を動いていない。西門は礎石をおいて柱を建てた瓦葺きの門。間口3間11.5m、奥行2間5.5mの規模だった。門の西には塀があり、土管をつないだ上水道が埋まっていた。寺の四方に開いた門のなかでは、この西門が最も大きい。寺の西に、飛鳥の檜舞台、「榎(ケヤキの古名)の木の間場」があったからだ。中大兄皇子と藤原鎌足はこの隙鞠の場で出会い、645年に大化改新をなしとげた。この時、二人は飛鳥寺に陣をかまえ、西門から甘樫丘の蘇我入鹿・蝦夷の館をにらんでいた。672年の壬申乱の時には広場を軍隊がうめつくした。その後は、外国使節や遠方の使者を歓迎する宴会の場となり、噴水がおかれ、歌や踊りが満ちあふれた。西門はそんな飛鳥の歴史をみまってきたのだった。

飛鳥寺西門跡

飛鳥寺は西暦588年につくり始められた日本最初のお寺。塔を中心にその北と東西に三つの金堂がたっていた。北の中金堂にあった鞍作鳥作といわれる飛鳥大仏は、いまでもその位置を動いていない。西門は礎石をおいて柱を建てた瓦葺きの門。間口3間11.5m、奥行2間5.5mの規模だった。門の西には塀があり、土管をつないだ上水道が埋まっていた。寺の四方に開いた門のなかでは、この西門が最も大きい。寺の西に、飛鳥の檜舞台、「槻(ケヤキの古名)の木の広場」があったからだ。中大兄皇子と藤原鎌足はこの蹴鞠の場に出会い、645年に大化改新をなしとげた。この時、二人は飛鳥寺に陣をかまえ、西門から甘樞丘の蘇我入鹿・蝦夷の館をにらんでいた。672年の壬申乱の時には広場を軍隊がうめつくした。その後は、外国使節や遠方の使者を歓迎する宴会の場となり、噴水がおかれ、歌や踊りが満ちあふれた。西門はそんな飛鳥の歴史をみまもってきたのだった。

このエリアが西側から見た西門跡



南東側から見る



礎石であろうか



西門跡の先から現在の安居院を見たところ



さて、これは西門跡の手前(西側)にある入鹿の首塚(五輪塔)/その向こう側一帯が「槻の樹の広場」の跡/前方の丘陵は甘樫丘



入鹿の首塚から現在の安居院方向を見たところ



参考ホームページ

<http://www9.plala.or.jp/kinomuku/asukadera.html>

<http://www.asuka-tobira.com/asukakyo/asukadera.htm>

<http://www.kasugano.com/kankou/asuka/index6.html>

<http://www.asukanet.gr.jp/ASUKA2/ASUKATERA/asukadera.html>

<http://gpeach.nobody.jp/tera/asuka/asukadera.html>

<http://bunarinn.lolipop.jp/bunarinn.lolipop/11gatakara/lolipopfc2/EncartaB/kitoranojidai/asukadera/asukadera.html>

<http://www.bell.jp/pancho/asuka-sansaku/asukadera.htm>

<http://sanzan.gozaru.jp/bb/bb51/bb51.html>

http://www.bell.jp/pancho/travel/asuka-ji/asuka_tera.htm

<http://www12.plala.or.jp/HOUJI/otera-3/newpage538.htm>

<http://hanayumi.konijiki.jp/07nara/17asukad/asukad00.html>



